

●●●●● 新年度を迎えるにあたって ●●●●●

指導部主任指導主事（特別支援教育担当） 市川 裕二

今年度の「Scrum」も最終号を迎えました。「Scrum」では、小・中学校の教育を取り巻く今日的な課題の中から、「学力向上」「習熟度別指導」「理数教育」「道徳教育」「特別支援教育」等を取り上げ、指導のポイントや指導事例等を紹介してきました。「Scrum」がこれまで発信してきた情報が、先生方の専門性の向上に寄与できれば幸いです。

さて、学校では、新年度に向けての校務に御多用のことと思います。児童・生徒やその保護者も、4月からの新たな生活への期待に胸を膨らませていることでしょう。児童・生徒や保護者が安心して新年度を迎えられるようにするためには、学年間や学校間の引継ぎを十分に行い、新しい学校生活をスムーズに開始できるよう準備を整えることが大切です。

特に、特別な支援が必要な児童・生徒やその保護者は、進級や進学に当たり、これまでに効果のあった指導の手だてや配慮事項等が確実に引き継がれることを期待しています。各学校では、保護者の理解と協力のもと、個別の指導計画や教育支援計画を活用して十分に引継ぎを行い、新年度に向けた準備を進めていただきますようお願いいたします。

小・中学校においては、児童・生徒が知性、感性、道徳心や体力を育み、人間性豊かに成長することを願い、一人ひとりのもてる力や可能性を精一杯に伸ばすことができる教育の充実に努める必要があります。そのためには、各学校、区市町村教育委員会、都教育委員会がこれまで以上に連携を強化することが重要です。当課といたしましては、来年度も引き続き「Scrum」を通じて有益な情報を発信し、小・中学校における教育内容の充実に支援してまいります。

目 次

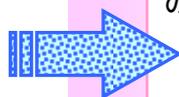
- 「東京ベーシック・ドリル」を御活用ください 2
- 「理数教育の窓」ー 理数好きの子供たちを育てるために ー 4
- 「道徳教育の窓」ー 東京の子供たちの豊かな心を育む ー 5
- 「特別支援教育の窓」ー 全ての学校で実施する特別支援教育の推進を目指して ー 6

東京都教育委員会ホームページ内に「学び応援ページ」というコーナーがあるのを御存じですか？

「学び応援ページ」には、各学校が、指導内容や指導方法等の工夫を通して、授業の改善・充実に努めることを応援するための、様々な事例集や報告書等を掲載しています。ぜひ、御覧いただき、参考にさせていただければと思います。なお、本通信のバックナンバーも、「学び応援ページ」に掲載しています。

（東京都教育委員会ホームページアドレス
<http://www.kyoiku.metro.tokyo.jp/>）

学び応援ページを御活用ください！



東京都教育委員会ホームページ・トップページ
の下の方に、このバナーがあります！



★ 本メール・マガジンの配信を希望する方は、件名に「メール・マガジン配信希望」、本文に所属・氏名を御入力いただき、S9000024@section.metro.tokyo.jp へメールを御送信ください。

「東京ベーシック・ドリル」を御活用ください

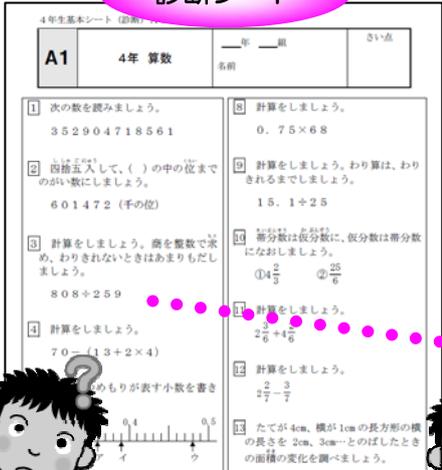
東京都教育委員会では、小学校第4学年までに身に付けさせる必要がある基礎的・基本的な内容をまとめた教材「東京ベーシック・ドリル」（国語・社会・算数・理科）を作成し、都内全公立小学校に配布します。

「できない」「わからない」を「できる」「わかる」にし、東京の子供たち一人ひとりの「確かな学力」の定着と伸長を図るため、「東京ベーシック・ドリル」を効果的に御活用ください。

「東京ベーシック・ドリル」はこんな教材です

「東京ベーシック・ドリル」の構成 ～算数の例～

診断シート



解説シート



練習シート



複数の練習シート

〈診断シート〉では、各学年で身に付けておくべき指導内容について、学力の定着状況や学習到達度を測ることができます。

〈解説シート〉には、診断シートの各問題の解説を載せています。間違えた問題について、自分で復習することができます。

〈練習シート〉では、間違えた問題について、できるようになるまで関連した問題や類似問題を繰り返し学習することができます。

診断シートにある問題を全て解くことができた児童は、当該学年の「東京ベーシック・ドリル」はクリアとなります。



「東京ベーシック・ドリル」の特長

- ◆ 国語・社会・算数・理科の4教科について、小学校4年生までに身に付けさせる必要がある基礎的・基本的な内容をまとめています。
- ◆ 子供たちが自分で学習を進められる構成になっています。
- ◆ できるまで繰り返し学習に取り組みせたり、分からないところについて前の学年に立ち戻って指導をしたりする際に、効果的な内容になっています。
- ◆ 各学校に電子データで配布しますので、必要に応じて加工して活用することができます。
- ◆ 先生が独自に作成したプリントや市販のドリル、各地区教育委員会作成の教材等を補完する教材としても、活用できます。

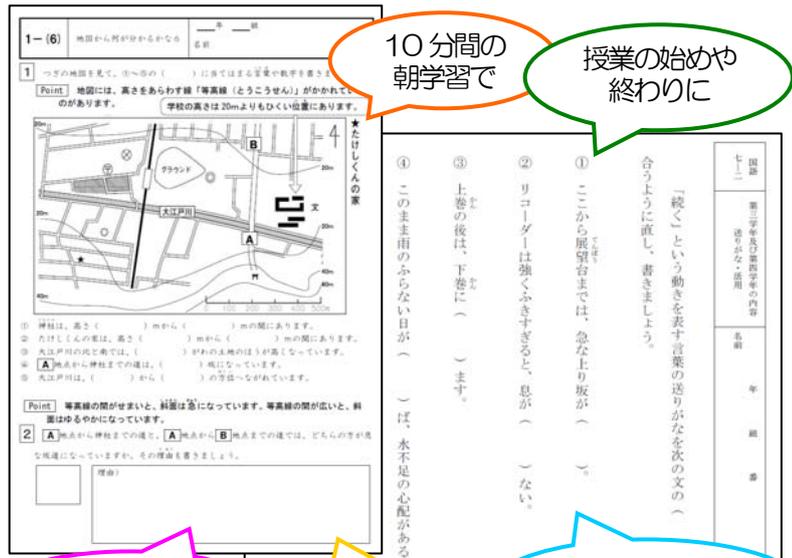


「東京ベーシック・ドリル」の活用例

「繰り返しの指導」での活用

算数以外の教科については〈診断シート〉〈解説シート〉はありませんが、国語は第1学年から第4学年、社会・理科は第3学年と第4学年の、基礎的・基本的な内容が繰り返し学べるようになっています。

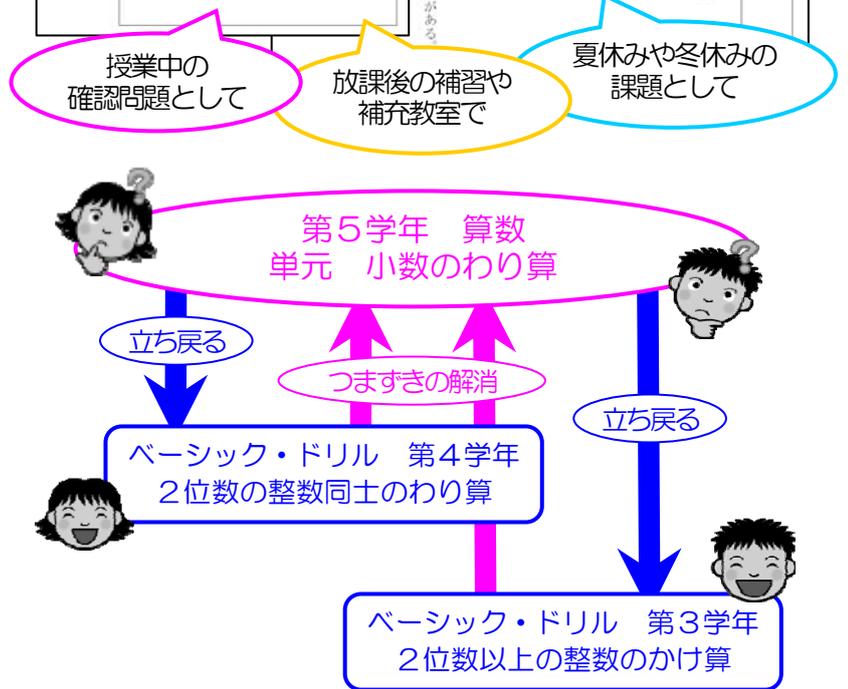
当該学年で扱う内容について、ベーシック・ドリルを活用して繰り返し学ぶ機会をつくることで、基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着を図ることができます。



「立ち戻る指導」での活用

第5学年・第6学年の児童に対しては、「できない」「わからない」の原因となっている、前学年までの学習内容に立ち戻って指導する教材として活用することができます。

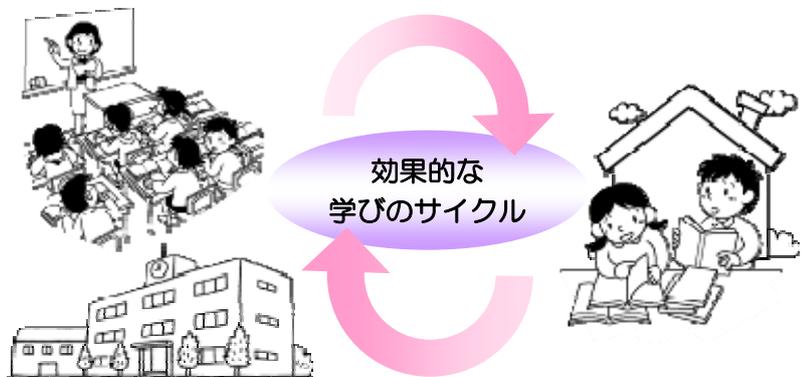
例えば、第5学年の小数のわり算の単元において、同じ授業時間内で、わり算の計算に課題のある児童には第4学年のベーシック・ドリルに取り組みせ、正確なかけ算ができない児童には第3学年のベーシック・ドリルに取り組みさせます。児童一人ひとりの実態に応じた効果的な指導を行うことで、学習のつまずきを解消させて今の学習につなげさせることができます。



「家庭学習」での活用

児童が家庭で当該学年の内容や前学年までの内容を復習するための教材としても、ベーシック・ドリルを活用することができます。

ベーシック・ドリルには、同じ内容について複数枚のシートがあり、類似問題を繰り返し学習することができます。家庭で継続的・計画的にベーシック・ドリルに取り組みせていくことで、主体的な家庭学習の習慣化につなげることができます。



小学校4年生までの学習内容は、その後の学習の土台となります。子供たちに基礎的・基本的な内容を確実に身に付けさせるために、「東京ベーシック・ドリル」を効果的に御活用ください。



「理数教育の窓」 —理数好きの子供たちを育てるために—

理数フロンティア校（小・中学校） 実践事例集を配布します！

東京都教育委員会は、各区市町村における理数教育の中核的な役割を担う学校として、都内の小学校 50 校・中学校 50 校を理数フロンティア校に指定しています。

この度、この理数フロンティア校の取組の一部を「実践事例集」としてまとめました。この実践事例集は、都内公立小・中学校と都立高等学校に配布するとともに、東京都教育委員会のホームページに掲載する予定です。

そこで、今回は実践事例集の内容の一部を御紹介いたします。指導力向上のための研修の内容や方法など、理数教育以外の分野でも参考となる事例を掲載しています。各学校でぜひ御活用ください。

教員を対象とした研修会の開催（例）

★ 小学校

- 研究授業及び研究協議会の終了後に、研究授業で実際に児童が行った実験を教員対象の実技研修で扱った。さらに、この実技研修では、関連する実験器具の使用方法や薬品の準備方法等についての研修も行った。

⇒ 理科で使用する教材・教具に対する教員の理解や関心が高まっただけでなく、教員の観察・実験に関わる技能も向上した。

★ 中学校

- 夏季休業中に授業者以外の教員が生徒役となって授業を受ける形式で理科の模擬授業を実施した。その後、協議会で模擬授業について話し合い、後日実施する研究授業の学習指導案を改善した。

⇒ 校内研修を全教員で実施したことにより、生徒が付箋を使って自分の考えを整理する方法等の効果的な活動が他教科の授業でも取り入れられるようになった。



サイエンス・サポーターの活用（例）

★ 小学校

- 企業を退職した方に、サイエンス・サポーターとして予備実験や実験準備の補助を依頼した。また、理科備品の整備及び理科室の物品リストの作成をお願いした。

⇒ 理科備品が整備され、理科室の物品リストができたことによって、物品を有効に活用できるようになるとともに、実験準備の時間が大幅に短縮した。

★ 中学校

- 元公立中学校副校長2名と大学生1名に、自然科学や先端科学に関する情報提供や展示を行うコーナーで生徒の質問に答えたり、映像教材を見せたりする活動をお願いした。さらに、昼休みに生徒向けの科学講座を年間に複数回実施してもらった。

⇒ 自然科学や先端科学に関する情報や展示に触れることによって、理科に興味・関心をもつ生徒が更に増えた。

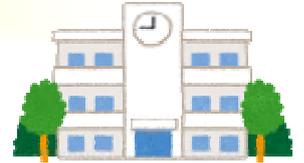


「道徳教育の窓」

— 東京の子供たちの豊かな心を育む —

「東京都道徳教育教材集」を活用した 実践事例を紹介します！

本年度も数多くの学校で、道徳教育の充実を図る様々なすばらしい取組が行われました。都内のある小学校では、東京都道徳教育教材集を積極的に活用し、各学年で取り組んだ内容を全校で共有するとともに、「心の教育・道徳教育の充実」をテーマに学校便りを発行して、保護者・地域の方にも学校の取組を知ってもらう工夫をしていました。



すぐに使える！

東京都教育委員会では、東京都道徳教育教材集を活用した実践事例を、ホームページに掲載する予定です。

A3判の資料1枚に、1単位時間の授業の流れ、指導のポイントや板書の仕方等を分かりやすくまとめています。すぐに授業に生かせる資料となっていますので、ぜひ御活用ください。ホームページでは、4月以降に御覧になれます！

分かりやすい！

《都内公立小学校の学校便りより抜粋》

■□■ 道徳授業 ■□■

心の教育・道徳教育の要となっている授業は道徳の授業です。学校の道徳授業は、道徳の副読本や様々な教材を活用しながら授業を展開しています。その中で「東京都道徳教育教材集」という資料も積極的に活用しています。これは低・中・高学年ごとにまとめられています。どの学年も「先人のことばに学ぶ」「先人の生き方に学ぶ」「自分を見つめて学ぶ」という3章からなっています。下に各学年で1、2月に授業で活用した内容を紹介します。これからも心の教育・道徳教育の充実を目指し学校全体で取り組みます。

| 学級 | 活用した資料名 |
|------|--|
| しらさぎ | 気もちのいいまい日にしよう (学級全体で1.2年生版を使い授業をしました) |
| 1年1組 | よいことは すすんで やろう |
| 2年1組 | お母さんのパラパラまんが(手塚治虫) |
| 3年1組 | 友だち |
| 4年1組 | ワンダフル・ヒトミ(人見絹枝) |
| 4年2組 | 江戸の人々のために(玉川兄弟) |
| 5年1組 | 先人のことばに学ぶ |
| 5年2組 | (資料から心に残る先人の言葉を集めました) |
| 6年1組 | 母思いの発明家(豊田佐吉) |
| 6年2組 | アルキメデスの原理(アルキメデス) |



「東京都道徳教育教材集」を家庭でも 読んでいただきたい…。

保護者の皆様が、子供への「思い」や「願い」、子供が受け継いでいってほしい「人が生きていく上で大切なこと」を、子供に語る際に、ぜひ、この教材集を御活用いただきたいと考えています。東京都教育委員会は、学校・家庭・地域社会が一体となった「心の教育」を推進しています。

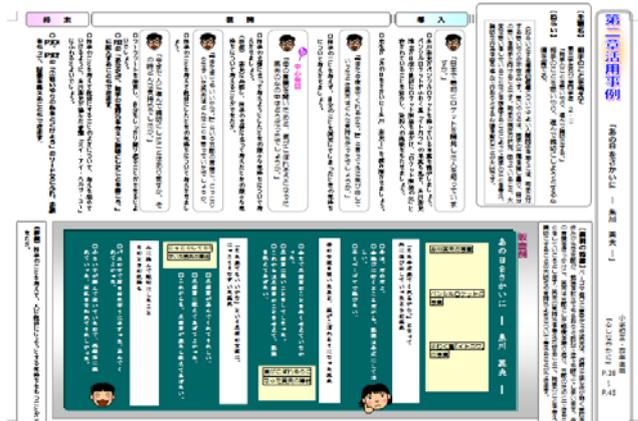


東京都教育委員会
ホームページのトップページ

(<http://www.kyoiku.metro.tokyo.jp/>)



道徳教育



※「東京都道徳教育郷土資料集」「小・中学校 東京都道徳教育読み物資料集」「道徳授業地区公開講座予定一覧」等の役立つ情報も掲載されています。併せて御活用ください。

「特別支援教育の窓」

— 全ての学校で実施する特別支援教育の推進を目指して —

進級・進学にあたり、指導・支援の確実な引継ぎを

特別な支援を必要とする児童・生徒が進級・進学するに当たり、児童・生徒本人の生活や状況の変化を想定し、各学校間、教員間で引継ぎに必要な情報を整理する必要があります。これまでに効果のあった指導の手だてや保護者の思いなどを確実につないでいくことが大切です。

進級・進学等の学校生活の節目に、児童・生徒の成長を確かめるとともに、児童・生徒や保護者が安心と信頼をもって新しい学校生活に臨めるよう、「個別の教育支援計画」を活用した引継ぎの充実を図りましょう。

大丈夫かしら？

入学式って？



児童・生徒、保護者が、安心して新年度をスタートできるよう
「個別の教育支援計画」を活用しましょう

「個別の教育支援計画」は、指導や支援を引き継ぐだけでなく、
子供に関わる「人」と「人」とをつなぐためのツールでもあります。

●教員(学校)と保護者として

◆「個別の教育支援計画」を活用し、保護者参画のもと、これまでの効果的な指導や保護者の思いを着実につないでいきましょう。

◆入学式・始業式までに、児童・生徒に必要な支援について共通理解を図り、本人・保護者が学校施設や予定等を確認しておくことも大切です。

子供のことが伝わっていて、安心しました。



●担任と特別支援教育コーディネーターとして

◆「個別の教育支援計画」の支援のポイントから、子供の一日の過ごし方や具体的な支援方法等、必要な情報を引き継いでおきましょう。

◆教室環境、学習環境を整備しましょう。
壁面や棚の上、机回り等、児童・生徒が落ち着いて学習に取り組める環境を整備しましょう。

「個別指導計画」と併せた手だての例



合図

スケジュールの提示

学習の流れ

個別の教育支援計画(例)

| | | | |
|--|--|--|--------|
| 児童・生徒 | フリガナ | | 性別 |
| | 氏名 | 〇〇 〇〇 | 男 |
| 在籍校 | 〇〇立〇〇小学校 | | (電話:) |
| 1 学校生活への期待や成長への願い(こんな学校生活がしたい、こんな子供(大人)に育ってほしい、など) | | | |
| 児童・生徒 | 勉強をがんばる。友達と仲よくしたい。 | | |
| 保護者 | ・学校で楽しい生活を送ってほしい。 ・気持ちのコントロールができるようになってほしい。 | | |
| 2 現在のお子さんの様子(困っていること・得意なことなど) | | | |
| ・新しい学習や活動への抵抗感が強い。 ・分からないこと、うまくできないことへの不安感が大きい。(不安を感じると固まってしまうことがある。) ・集団生活の不安や緊張から、学校から帰ると家庭で感情を爆発させることがある。 ・友達と仲よくしたい気持ちがあり、休み時間や放課後は友達と遊んでいることが多い。 | | | |
| 3 支援の目標 | | | |
| ◎本人が、学校でも家庭でも、安定した生活を送れるように支援をしていく。 | | | |
| 学校の指導・支援 | | 家庭の支援 | |
| ○学校での不安感を少なくするために ・新しい活動の前には、どんな活動か、始まりと終わりの時間、活動の手順などを伝えて見通しをもたせる。 ・困ったときや分からないときに出すサインを決めて、授業中必要なときに支援できるようにする。 | | ・疲れやイライラする様子が見られたら、ゆっくり休ませるようにする。 ・宿題や家庭での学習は無理のない範囲で少しずつ進める。 ・がんばったときやうまくできたことは、家族全員でほめる。 | |

「個別の教育支援計画」から、新しい環境への不安感を減らすことがポイントだと分かりました。



これからの個別の教育支援計画



平成26年3月
東京都教育委員会

本人・保護者の願いを実現し、さらに充実した支援につなぐために

「これからの個別の教育支援計画(平成26年3月)」を都内全公立小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の先生方に配布します。

効果的な支援を実現するための「学校生活支援シート」や「学校生活支援ファイル」のほか、参考となる実践事例も多数掲載しています。ぜひ御活用ください。